～宮大生のための海外渡航～

台湾夏期英語／華語・台湾文化研修報告

農学部・研究科　応用生物科学科・課程・専攻　1年　（氏名　馬場渉）

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　2016 年　8 月　16 日　～　2016 年　8 月　30 日

〇渡航時の学年：　1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

私は、世界中いろいろな所を旅行したいと考えています。
そのため、大学生のうちに安くて良い経験ができることを期待し、参加を決めました。

・渡航に関する手続について：

海外旅行保険、航空券入手

・査証取得：

なし

★体験記：

派遣先の情報（渡航費用・生活費・寮の環境・大学の環境・授業内容・学生の様子・生活環境等）や派遣先で学んだことについて書いてください。

〇生活費：

渡航費：¥30710
寮費：¥0
食費：夜市では、売っているもののほとんどが 100 元以下でした。
　　夜市に行かないときは、牛肉麺のお店に行きましたが、そのときも一食約 100 元程度でした。

〇大学のサポート状況：

日本人 88 人に対し、学生チューターは 20 名弱でした。宮大 5 人に、台湾人 1 人がついて世話をしてくれました。他の班も同じような人数構成でした。自由行動の日には、タクシーや電車でいろいろなところに連れていってくれました。とても良いサポートをしてくださいました。

〇授業の様子：

宮大と同じような英語の授業で、教科書をもとにしたものでした。リスニング、音読、英作文、そして、みんなの前で発表などもしました。歌やゲームなどもありました。

〇他の留学生たちの様子：

日本人 88 名です。大分大学や広島大学、金沢星稜大学、東京外国語大学、弘前大学など日本全国から参加者がありました。

〇現地学生との交流：

授業の終わった午後や1日中自由行動の日は、班で外出しました。
買い物や食事を楽しみました。店員さんとの会話をチューターが通訳してくれてとても助かりまし

た。寮でも、ソファとテレビがあるラウンジでは毎日、学生同士で話が盛り上がっていました。

〇街の様子:
大学の近くにはファミリーマートやセブンイレブンがありました。牛肉麺のお店や朝食屋さんも何軒かあり、生活に不自由はありませんでした。タクシーで少し走ったところに桃園駅があり、どこかへ行くときには必ずそこを利用しました。電車賃は、コンビニで学生証にお金をチャージしてそれを使いました。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
私の班ではチューターが、自由行動の日はどこに行きたいか聞いてくれたので、事前にいきたいところ、食べたいものを調べておくといいと思います。